

## 書評部門 優秀作

P. N. K. Eさん 文学部 4回生

『ことばと思考』 今井おつみ著 岩波書店

### 「走る=run」は正しいか？

**あ** なたが大学生なら、今までの人生で少なくとも3つの言語に触れていることだろう。日本語と英語、そして第二外国語。入学時、あなたはどの外国語を選択しただろうか。

英語を、あるいは第二外国語を学ぶ過程で、私はさまざまな壁にぶちあたった。

「冠詞って何？どう使い分けるの？」

「男性名詞？女性名詞？名詞に性別があるのはなぜ？」

「動詞の活用、もううんざり！」

「この場合は過去形じゃなくて現在完了形を使うべきかな？」

「え、この動詞ってうまく日本語に訳せたくない？そもそも日本語にこの概念ないよね？」

外国語と日本語は、発音も文法も語彙も全く異なっている。そんな事実を目の当たりにして、ふと、使う言語が違うなら、思考回路も違うんじゃないか？という考えが頭をよぎった。それで手に取ったのがこの本だ。

著者は最新の研究成果を、初学者でもわかりやすいように丁寧に解説してくれている。この本でも明かされている通り、異文化に暮らす人々の考え方は、やはり多かれ少なかれその言語の影響を受けている。言語について学ぶことは、異文化理解の一助になること間違いなしだ。

最後に、この本の内容からひとつ。「彼女は走っています」を英訳すると、どうなるだろうか？

「そんなの"She is running."だろ、当たり前だよ」と思ったあなた。ぜひこの本を読んでみてください。